

3類型	農林水産物	通巻番号	7-22-003
地域資源名	すぎ	認定日	平成22年10月4日
地域	愛媛県東温市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：東温市・久万高原町産「すぎ」を活用した掲示板機能を有する有孔ホワイトボードの開発・製造・販売

会社名：株式会社サカワ
 連絡先：TEL：089-966-5566
 FAX：089-966-4455

所在地：愛媛県東温市南方2215-1
 HP：http://www.sakawa.net/

事業概要(新たな活用の視点)

- ・愛媛県の林業は、国産材の価格低迷に併せ、経営体質の弱体化と後継者不足、収益性向上が喫緊の課題となっている。また、適正な間伐などの手入れが欠かせない状況にあり、木材としての有効活用策を見出す必要に迫られている。
- ・取引先である企業から、押しピンの抜き刺しが容易な掲示板の相談を受け、適度の隙間のある「すぎ」の木口面を表面材とした合板に炭シートを張り合わせた掲示板用木炭ボードの試作品を完成させた。その後、別の企業から書き込みと掲示機能を合わせ持ったホワイトボードの開発を要望され、本事業に着手した。
- ・東温市及び久万高原町の地域産業資源である「すぎ」の間伐材や端材を活用し、押しピンとマグネットが使用でき、かつ書き込みが可能な有孔ホワイトボードを開発・製造する。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

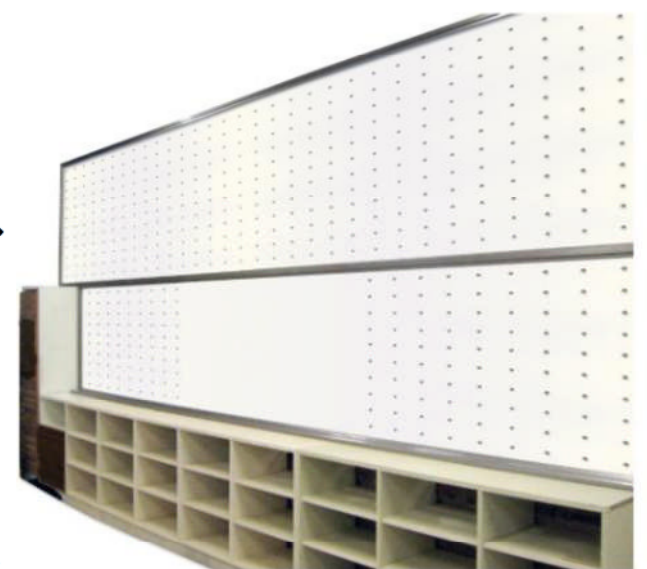
- ・柔らかい木口面を下地部材として使用し、簡単に押しピンの抜き差しが可能なこと、確実に掲示物を固定できること、書き込み機能と掲示機能の両機能を有していること、「すぎ」と炭の脱臭、調湿、吸音、ホルムアルデヒドやアンモニア等の分解・除去機能を有していることで差別化を図る。

◆市場性

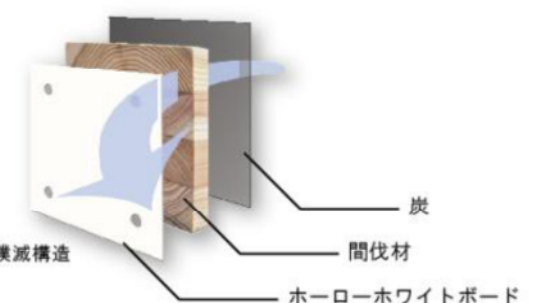
- ・オフィス家具の市場規模は平成19年度に4,350億円であり、黒板・ホワイトボードの市場規模は約300億円と推測される。また、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」の施行に合わせた市場拡大が予想される。

◆販路

- ・黒板メーカー、事務機メーカーからのOEM生産の受注、首都圏を中心にイベント等において学校関係、文具市場、飲食店等へ販路開拓を図る。また、環境対応型商品としてパブリシティ活用等によりPRを行う。



木の断面(切り口)を表面材にしました。その表面材の裏に炭を施し、呼吸している木を通して炭の効果が広がります。



地域資源における関係事業者との連携

- ・「すぎ材」の安定供給のため、松山流域森林組合及び久万広域森林組合との連携体制を構築する。
- ・愛媛県産業技術研究所から研究開発、評価試験などの指導を受ける。